

研修のねらい

- 時代の変化をいち早く察知する先見力を養います。
- 多数の情報から必要な情報を知覚する力を身に付けます。
- 住民の要望を先取りし、魅力ある地域を創発する力を養成します。

東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした「地方創生」では、東京に勝つことではなく、東京に負けないものを持つことが重要です。

つまり、東京には無い価値を見つけ出し、創り出すことで、結果として東京に負けない地方都市として存続・発展を図ることができるのです。

そのような「地方創生」を組織的に進めていくにあたっては、個々の自治体職員に政策形成の前提となる「情報感知力」や「創発力」が備わっているかどうか問われます。「情報感知力」とは周りの変化を直観的に感じて知る力のこと、「創発力」とは個々人の能力や発想を組み合わせる創造的な成果に結び付ける力のことです。

この研修では、グループディスカッションを交えながら、直観的な「情報感知力」と論理的な「創発力」の双方を高めることをめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	1. 地方創生は、東京に勝つことではなく、 東京に負けないものを持つこと (1) 森を見て木を見る思考 (2) 答えから考える思考 (3) 失敗から学ぶ思考 2. 政策形成の前提となる「情報感知力」と「創発力」 (1) 周りの変化を直観的に感じて知る情報感知力 (2) 個々人の能力や発想を組み合わせる 創造的な成果に結び付ける創発力 (3) 直観的な情報感知力と論理的な創発力の双方を高める	4. グループディスカッション <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「発想し、組み合わせ、成果に結び付ける技術」</div>
午後	3. グループディスカッション <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「情報を感知し、組み立て、伝える技術」</div>	5. 地方創生では、住民満足よりも住民不満の解消から (1) 住民の要望を感知するには (2) 住民不満の三大要素 (3) 行政サービスは、住民が困っていることを解決すること 6. まとめ